

チャレンジを 応援し続ける社会を築く



今後ますます高齢化の進展が見込まれる我が国においては、年齢にかかわらず、一人一人の意欲や能力を最大限発揮できる、全世代で支え合える社会が望まれています。今年度のフォーラムでは、高齢期に活躍できる社会を皆でつくることを目指し、若い方から高齢期の方まで、地域社会や民間団体、行政等、社会全体として取り組めることについて、共に考えていきましょう。

参加
無料

平成29年度

高齢社会フォーラム in 東京

日時 平成30年1月22日(月)
10:00～15:45 (9:30開場)

会場 イノカンファレンスセンター 4F
定員 200名

PROGRAM

- 09:30 受付・開場
- 10:00 開会挨拶 (内閣府)
- 10:10 基調講演
- 11:10 高齢社会対策説明 (内閣府)
- 11:30 休憩 (60分)
- 12:30 分科会

高齢者から発進！世代をつむぐ、 『三方よし』の地域づくり

藤原 佳典 東京都健康長寿医療センター研究所
社会参加と地域保健研究チーム 研究部長



PROFILE / 北海道大学医学部卒、京都大学大学院医学研究科修了(医学博士)。世代間交流型ソーシャルキャピタル研究として、シニアボランティアによる子どもへの読み聞かせボランティアプログラム「りぶりんと」を開発し、全国15自治体で展開中。多世代共生・互助の地域づくりの視点から高齢者の社会参加がもたらす多面的効果について研究を進めている。日本世代間交流学会副会長、内閣府高齢社会対策の基本的な在り方等に関する検討会委員他、多数の自治体の審議会座長を歴任。

第1分科会 こうすればみんなが 主役になれる ～地域も職場も女も男も～



□コーディネーター

伊藤 恭子

NPO法人 高齢社会をよくする女性の会

いつまでも元気に活躍している地域づくりや職場づくりに取り組む先進的な事例を紹介していきます。いつまでも輝いて生活できる実践例には目からうろこです。さあ！あなたも参加して明るい未来の人生の次の扉を開きましょう！

■パネリスト

池田 陽子 / 特定非営利法人JAあづみくらしの助け合いネットワークあんしん 代表理事 農業者の特性を生かした地域づくりの取組みから、住民の生きがいをつくり、安心して暮らせる里づくりを推進。

野老 真理子 / 大里総合管理株式会社 社長

「ビジネスと地域おこしの両立」を実践し、地域高齢者を支える活動を20年続けている。

池谷 照代 / 静岡県藤枝市男女共同参画推進センター「ばりて」運営協議会 会長
～ひとと輝け！未来づくり～を永遠のテーマに掲げ、様々なアクティブシニアを目指す活動に取り組む。

第2分科会 海外からみた 日本の高齢社会



□コーディネーター

松田 智生

株式会社三菱総合研究所
プラチナ社会センター 主席研究員

日本の高齢社会は海外から一体どのように見られているのでしょうか？日本の高齢社会の良い点と課題を、アメリカ、ドイツ、中国の専門家から報告し、世界が連携して目指すべき輝く高齢社会像を討議します。

■パネリスト

※すべて日本語で行います。

アイザック・ガーニエ (アメリカ)

「日本の地方自治体の将来」「日本におけるコミュニティ・メンタルヘルス(傾聴ボランティア等)」の研究に取り組む。現在DIJ専任研究員。

シャネット・フックス (ドイツ)

学校訪問や外国語教室で、英語やドイツ語、ドイツ文化を教えている傍ら、高齢者学級等にも取り組んでいる。

劉 瀟瀟 (中国)

中国人の深層意識のきめ細かい理解とともに、日本人の価値観・意識・行動を研究している。

第3分科会 認知症になっても日常を 「フツウ」に続けられる コミュニティを考える



□コーディネーター

澤岡 詩野

公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団
研究部主任研究員 工学博士
専門社会調査士

認知症になったら終わり、何もできないという偏見が根深くありますが、できる事も沢山あります。できない事を支えられつつも、今までの日常を『フツウ』に続けられるコミュニティの在り方を、認知症と向き合う団体、本人と共に考えましょう！

■パネリスト

毛利 悦子 / 武蔵野市健康福祉部高齢者支援課 相談支援担当課長

介護保険では対応できない認知症高齢者の外出や趣味などの社会活動を、独自の仕組みとして支えている。

牧 壮 / 牧アイティ研究所 代表

認知症で失われる機能をタブレットやインターネットで補い日常生活を営み続ける為に支援を行っている。

守谷 卓也 / (株)ウィンドミル・DAYS BLG!
はちおうじ 代表取締役

中田 哲行 / メンバー(認知症と向き合う本人)

今までと同じように「働きたい」「つながりたい」を引出し、実現できるサービスを展開している。

15:00 休憩(15分)

15:15 全体総括

15:45 閉会

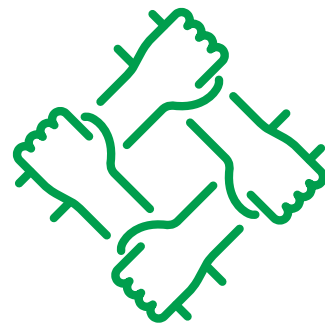
主催 / 内閣府 後援 / 文部科学省、厚生労働省

裏面の申込書にてお申し込みください

参加申込書

平成29年度

高齢社会フォーラム in 東京



平成29年度 高齢社会フォーラムin東京に参加希望の方は、WEBサイト、FAXまたは郵送にて下記宛先までお申し込みください。

本フォーラムは、全日参加を原則としております。

受付確認後に「参加証」を発送いたします。

※応募は先着順とし、定員になり次第締切いたします。

お申し込み方法



下記URLよりお申し込みください。

<https://form.os7.biz/f/002230d6/>



下記申し込み欄にご記入の上、送信してください。

03-3597-0171



下記申し込み欄にご記入の上、次の宛先に郵送してください。

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-7
NBF日比谷ビル19階

平成29年度 高齢社会フォーラム事務局 (MC&P内)



イイノカンファレンスセンター 4F

東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング4階

- 東京メトロ日比谷線・千代田線：霞ヶ関駅 C3出口／徒歩1分
- 東京メトロ丸ノ内線：霞ヶ関駅 B2出口／徒歩5分
- 東京メトロ銀座線：虎ノ門駅 9番出口／徒歩3分
- JR山手線・京浜東北線・東海道線・都営地下鉄浅草線ゆりかもめ：新橋駅／徒歩10分
- 都営地下鉄三田線：内幸町駅 A7出口／徒歩3分

参加者氏名	ふりがな	年齢	歳
所属団体名 学校名		所属部署・役職	
参加証 送付先住所	〒		
Eメール			
電話番号		FAX番号	
希望分科会	※第二希望までご記入ください [第一希望] 分科会 [第二希望] 分科会		
これまで「高齢社会フォーラム」に参加したことがありますか？	<input type="checkbox"/> ある () 回 <input type="checkbox"/> ない		

「高齢社会」について、疑問に思っていることや伝えたいことなどを自由にお書きください。

手話通訳は必要ですか	<input type="checkbox"/> 1. 必要である <input type="checkbox"/> 2. 必要でない
------------	---

※個人情報本フォーラム以外の目的では使用いたしません。

お問い合わせ	平成29年度 高齢社会フォーラム事務局 (土日祝を除く、平日9時～18時) TEL. 03-3597-0173 FAX. 03-3597-0171 E-mail. koureisyakai@mcp.co.jp
--------	---